

## 「省エネ市民会議」

会議年月日	25 年 9 月 20 日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	松木、山田、春田(記)、下田、難波、大前、伊東、松本、新田、西村、平手、新美、塩幡、高橋 (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				

### 議 題

#### 1, カーボンオフセットとは(山田殖保講師: 柏SOS代表)



温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)を取引する仕組みです。市内企業の活動で、どうしても排出してしまうCO<sub>2</sub>量を、協賛家庭が省エネで削減したCO<sub>2</sub>量でまかなう(差し引きゼロ)制度です。

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができないCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。／環境省のHPより

#### 2, 柏市のカーボンオフセット事業について(松木義也講師: かしわ街エコ推進協議会理事)



##### ＜仕組み＞

協力世帯の削減CO<sub>2</sub>を集計し、これを「証書」という形で見える化、

自社が排出するCO<sub>2</sub>を削減したい企業やゼロ排出試合を行う柏レイソルなどに発行します。

そして、協力世帯には、削減量に応じて表彰を行うなど、日頃のエコ活動を評価することで、一層のCO<sub>2</sub>削減に取り組んで頂くものです。

a: 削減量の評価手法: 毎年協議会で世帯人数別月別の目標値を設定し、毎月世帯毎に目標値に対しての削減量と超過量を算出し合計したものを全体の削減量としている。また、目標値は2000年度の生協(パルシステム)の実態調査結果を基準とし、毎年1%ずつ削減した値を採用している。

b: 協賛家庭(測定器設置世帯) = 約400世帯(主に柏の葉タウン) / 25年8月現在

c: オフセット効果 = 夏季(6月~8月)分で、柏レイソルのナイター3試合分がオフセットできる。



左: 山田殖保講師

右: 松木義也講師



次回予定; 日時 = 10月11日(金曜日) 13:30 ~ 15:30      場所 = 生涯学習センター(1F) B101会議室

内容 = 家庭内の明かりについて(菅原英雄講師: 省エネルギーコンサルタント、アドバイザー)